

6/26 6/25 ドイツ到着 上山市出発

6/27 ドイツの気候性地
形療法クアオルト
ウォーキング体験



6/28 温泉施設などの視察と
市内散策

6/29 パートクロツィンゲン市でテルメ(温泉施設)を体験。午後にはド市に到着し、再生可能エネルギーの取り組みを視察

上山市×ドナウエッシンゲン市 友好都市盟約15周年記念市民訪独団

交流から学ぶ ドイツの心

上山市とドイツ・ドナウエッシンゲン市(ソルステン・フライ大市長。以降、ド市)との友好都市盟約(以降、盟約)15周年を記念し、横戸長兵衛市長を団長に市民ら26人が、6月25日〜7月3日(9日間)に渡り訪独しました。

ド市では「斎藤茂吉の道」や「上山通り」が開設されたほか、市内施設の視察や歓迎式典が開かれるなどド市民と交流を深めました。ここでは、訪独の様子や団員が感じたことなどを紹介します。

人の温かさあふれる ド市との交流

ド市と本市は、大正13年に茂吉がド市を訪れ、数々の歌を残したことをきっかけに、平成7年盟約を締結5周年にはドナウ川源流にある「ドナウの泉」に茂吉の歌碑が建てられ、同所を訪れる世界中の人に茂吉の歌を紹介しています。

盟約15周年を記念してド市は30日、住宅街の一角に、約80mほどの「上山通り」を新設。その除幕式は訪独団の日程には伏せられたサプライズイベントとして行われ、フライ大市長は「上山の地名がついた道をぜひ整備したかった」と上山への熱い思いを寄せました。

続いて1日には、「ドナウの泉」近くの川沿いに「斎藤茂吉の道」も開設。案内板の除幕式が行われました。茂吉が歩いたであろうブリガツハ川沿いの1.5kmのコース。周囲は自然豊かで、川の流れを横目に石畳の道や芝の中を通る小道からなり、「田舎」の情緒が感じられる散歩道です。団員たちは「ドナウ源紀行」



ド市役所を表敬訪問。ド市の海外友好都市各市長との交流【左から、パーツ市(ハンガリー)、サベルネ市(フランス)、上山市、ドナウエッシンゲン市(ドイツ)】



上山市民訪独団のみなさん



訪独団は、クアオルトの第一人者で本市クアオルト認定コースの認定者であるシュー教授(ミュンヘン大学)も訪問し、本場ドイツのクアオルトを学んだ



歓迎式典で行われたアカペラコーラス。日本語で歌ったり、一緒に踊ったり、音楽を通して交流も深めた



自然に囲まれた川沿いに設けられた「斎藤茂吉の道」(左)。ド市役所から歩いて5分程度の住宅街の一角に設けられた「上山通り」(右)

友好のあゆみ

1995年

斎藤茂吉の紀行を縁とし友好都市盟約締結。学生訪問団の交流が始まる



盟約書は、ペニバナ入りの本市特産の高松和紙

を書いた当時の茂吉に思いをはせながら散策。フライ大市長が「上山は私にとってももう一つの故郷である」とあいさつすると、横戸市長は「道の整備をはじめ、交流を通して両市の友好の絆がさらに深まった」と述べました。

数々の心温まる交流やサプライズ演出など、これほどまでの歓迎の理由にフライ大市長は、「来日した際に上山の盛大な歓迎を受け、感動した。何かお返ししたい」と話し、訪独団は上山のことを思いやる、人の温かさを感じていました。茂吉をきっかけに続く友好関係は、「人の温かさ」に育まれながら、両市で大切にされています。

訪独団が感じた ド市のおもてなしの心

訪独団は交流を通してド市民の「おもてなしの心」を感じたと口を揃えます。行程には、フライ大市長や独日友好協会のメンバーが随行し、団員が最高の思い出となるようアイデアを出し合い、食事会や文化交流祭といったド市民と

交流する機会を設定。視察先での説明などド市の魅力を余すことなく紹介してくれました。団員は「遠い日本から来た上山のことをとても大切に思ってくれている」「言葉や文化は違えど、思いやりの心など、人間の本质は変わらないと感じた」と話し、9000km離れた両市であっても、心の距離は着実に縮まっている事を実感していました。

交流の機会を 子どもたちに

15年間の交流を通じてド市との強い絆は、上山への思いを育み、東日本大震災の時には、名取市(本市姉妹都市)に対して、800万円の義援金を寄せていただきました。茂吉によって紡がれた交流は、まちづくりや災害支援の取り組みへと広がっています。

日独友好協会幹事の土屋芳明さんは「茂吉は友好関係の懸け橋。友好都市を知ること、違った視点から交流ができるかもしれませんと、茂吉やドイツについて学ぶ必要がある」と話します。

次の時代を担う子どもたちを中心に、広い視野を持って学生訪問団などの交流活動に参加し、人の心や文化を学んでみてはいかがでしょうか。

2000年

盟約締結5周年を記念してド市「ドナウの泉」に茂吉の歌碑を建立



2003年

歌碑建立をうけて、ド市情報三角柱を上山市役所前に設置

2010年

ド市からフライ大市長が初来市。市内施設を視察し、産業まつりにも参加

2012年

15周年を記念して市民訪独団が訪独

